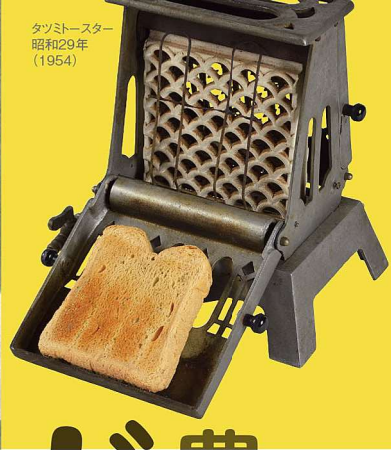




マッチラベル ガスストーブ
昭和20年代



タツミトースター
昭和29年
(1954)



エンジェル3号
湯沸器
昭和34年
(1959)



ガス自動点火七輪
昭和31年(1956)



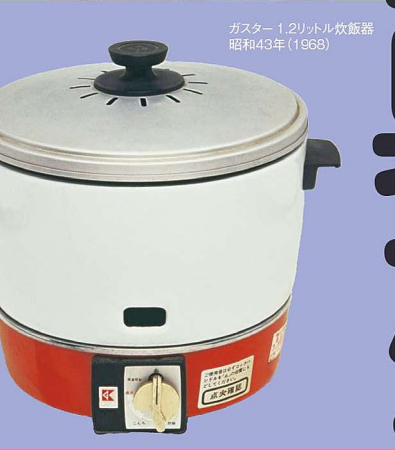
バランス型風呂釜S
昭和44年(1969)

豊かな暮らしをかなえた ガス器具たち

『昭和100年』、
そして『戦後80年』の一步先へ



TG25号ストーブ
昭和31年(1956)



ガスター 1.2リットル炊飯器
昭和43年(1968)



炊飯機能内蔵ガステーブル
昭和59年(1984)



ガスミュージアム

GAS MUSEUM がす資料館

10:00 - 17:00 入場無料

月曜休館 ※7/21・8/11・9/15(月・祝)は開館、7/22・8/12(火)は休館
ガスミュージアム「ガス灯館」2階ギャラリー

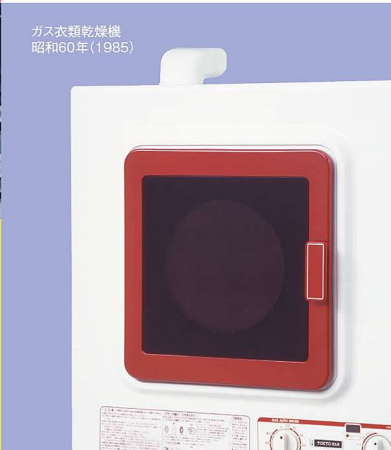
6 / 28 土
▼
9 / 15 月・祝



マッチラベル Tokyo Gas
昭和30年代



蒸気自在調節アイロン
昭和29年(1954)



ガス衣類乾燥機
昭和60年(1985)



圧電式の点火!
マッチラベル ガス炊飯器
圧力式で絶対ウマイ!



ガス超高速レンジ コンベック
昭和49年(1974)

Beyond 140th

TOKYO GAS GROUP

昭和20年代



▲ガスバーコレクター 昭和25年(1950)

昭和40年代



▲RN-004グリル付コンロ 昭和47年(1972)

昭和30年代



▲キング軽便物干器 昭和31年(1956)

昭和50・60年代



▲25号ガスファンヒーター 昭和55年(1980)

『昭和100年』、そして『戦後80年』の一步先へ 豊かな暮らしをかなえた ガス器具たち

6/28
土
9/15
月・祝

東京ガスが設立されてから140年を迎える今年は、昭和という時代が始まって100年、そして戦後80年を迎える年でもあります。戦後80年は、社会や制度、政治体制の大きな変革を経た複雑な時代となっています。

戦災復興から立ち上がった日本は、昭和30年代からの高度経済成長期を経て、一時的な経済不況はあったものの、昭和60年代のバブル期まで安定した経済成長を維持し、国民が豊かさを実感できた時代でした。

戦後の豊かな暮らしを支えた要素の一つは、ガス器具の進化と普及です。コックをひねることで、調理や暖房、温水が手軽に利用できるようになりました。特に、昭和40年(1965)に登場した「バランス型ガス風呂釜」は、内風呂やシャワー利用の普及を後押しし、私たちに豊かで快適な暮らしをもたらしました。

平成から令和の時代に入ると、ガス器具は安心・快適機能を備え、エネルギー効率や環境負荷に配慮した器具が登場し、現在の暮らしを支えています。

本展示では、戦後の高度経済成長期からバブル期にかけてのガス器具を中心に、当時のポスターや広告資料とともに紹介します。時代ごとの台所やお風呂場の風景写真、象徴的な品々を通して昭和を彩った暮らしの変化を振り返り、これからの都市ガスの取り組みについてもご紹介します。

さらに、シチズン時計株式会社様にご協力いただき、各年代を象徴する時計を展示します。これにより各年代の雰囲気を感じていただくとともに、昭和100年、戦後80年を超えて紡がれるガス器具の進化の歴史と、未来へのまなざしをお楽しみください。



▲写真 昭和20年代後半の台所



▲カタログ 浴室風景 昭和45年(1970)



▲会社キャラクター 調味料入れ 昭和40年代



▲マッチラベル ガスアイロン 昭和20年代



▲ミニカー グロリアパン 昭和55年(1980)



▲マッチラベル 東京瓦斯 昭和20年代

ガスミュージアム GAS MUSEUM がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25

TEL 042-342-1715

開館時間 10:00-17:00

月曜休館 入場無料

<https://www.gasmuseum.jp/>



公式Instagram
@gas.museum

バス 西武池袋線 東久留米駅西口より[武21]錦城高校前経由
…武蔵小金井駅行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、
またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より[武21]錦城高校経由
…東久留米駅西口行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分

徒歩 西武新宿線 小平駅より徒歩約20分(2km)
車 新青梅街道 滝山南交差点角 ※駐車場無料

